



ちばしょうぞう
千葉県三記念館だより

令和5年3月24日 第2号

【発行者】千葉県三記念館管理運営協議会
住所：鹿沼市楡木町1080
南押原コミュニティセンター内



平成27年10月にオープンした千葉県三記念館は、多くの皆様方のご支援・ご協力をいただき、南押原地区の文化の拠点として発展・充実をとげております。

千葉県三記念館管理運営協議会では、休日の施設管理や作品の紹介活動を実施しておりますが、なかでも、楡木小・南押原小KLVの皆様には、毎月1回「おはなし会」を開催し、影絵や紙芝居、かるた大会等を通して作品の普及・啓発にご尽力いただいております。

南押原地区では「まちおこし」の核として、この千葉県三記念館の文化活動を考えています。是非多くの方にご来館いただくよう、切に希望しております。

千葉県三記念館管理運営協議会 会長 鈴木 節也

<協議会役員の紹介>

会長 鈴木節也 副会長 善林栄 副会長 小室朱実 会計 生澤靖子 庶務 須田陽子 監事 秋澤久 監事 福島隆男

作品紹介

◆チックとタック (「良友」大正12年8月号掲載)

おじさんの家の柱時計の「チック」と「タック」が、おじさんが寝静まった頃に時計から抜け出し、お寿司を盗み食いましたが、ワサビの辛さで時計の音も「ジグダグ」になってしまうというお話です。昭和40年代に「チックとタック」に改題されて、小学校1年生の国語教科書に採用されました。



◆「虎ちゃんの日記」(「童話」大正14年9～10月号掲載)

小学6年生の虎ちゃんの夏休みの生活を、主人公の日記の形式で描いた作品。舞台は楡木が中心で、この作品で初めて楡木の方言が使われました。友だちとの遊びや仲たがい、家出体験、東京からやって来た病身の子どもとの交流と別れなどが描かれています。郷土童話の代表的傑作で、昭和14年に毎日新聞事業部で映画化されています。



機会がありましたら、ぜひ、千葉県三作品をご覧ください。

<来館者の感想です>

私は、小平でとなりに住んでいたものです。小さい頃よく着物でお散歩をしていたおじいちゃん(省三先生)に可愛がって頂き、とてもやさしく接していただきました。今日は記念館に来てまたおじいちゃんに会えた様な気がしてとても嬉しいです。また会いに来ます!

初めて記念館に入りました。懐かしい子供時代の雰囲気を感じました。人々の心に自然や人の温もりを感じさせる、また、思い起こさせる部屋(館内)です。作品が大切に展示され扱われているのを見て、ここを管理されている方々の思い入れと心の構えを感じました。これからも多くの市民、人々にこの記念館を知らせ、鹿沼の大切な先人から多くのことを感じ取り受け止めていただけたらと強く思いました。ありがとうございました。

平成30年、令和元年
夏休み親子教室を開催

コロナ前に開催していた夏休み親子教室
今年は再開できるといいですね

平成30年
～影絵を作ろう 作った影絵を映してみよう～



令和元年
「おばけばなし」の紙芝居を作ろう



≪ 「虎ちゃんの日記点訳版」が寄贈されました ≫



点訳グループ「桐」の代表であり、千葉県三記念館管理運営協議会役員の須田陽子様から、千葉県三記念館図書室に「虎ちゃん日記 点訳版」が寄贈されました。
点字は目の見えない人が指で読む文字です。
皆さんも点字にやさしくさわってみてください。

毎月1回のおはなし会継続中！！



毎月、第3日曜日（家庭の日）の11時から記念館学習室でおはなし会を開催しています。楡木小KLVと南押原小KLVの皆さんにご協力いただき、これまでにたくさんの影絵と紙芝居を披露していただきました。

子どもから大人まで楽しめる内容になっており、毎月参加してくださるリピーターの方もいらっしゃいます。また、お子さんには、オリジナルカードをお作りしています。おはなし会に参加してカードにわんわんスタンプをたくさん押してくださいね。

千葉県三記念館管理運営協議会の会員を募集しています！



千葉県三管理運営協議会では、会員の皆さまからの会費で、記念館の管理やイベントなどの運営をしています。記念館を中心とした地域の街づくりに物心両面から応援していただきたく、ぜひ協議会にご加入くださいますようお願いいたします。

個人会員	1口	1,000円
法人・団体会員	1口	5,000円

【問い合わせ先】鹿沼市教育委員会事務局文化課文化振興係 TEL 65-6741 FAX 65-6742